

日射量が多く太陽光発電先進地でもある北杜市を地域の仲間と見学しましたので、印象に残ったことを報告します。

### 1. 実験評価サイト「北杜サイト太陽光発電所」見学

色づき始めたカラマツ林、左には八ヶ岳、右には富士山を楽しみながら進むと程なく北杜サイト太陽光発電所に着く。

全体では2MWクラスの実証実験を行っているが、その内、PVシステム評価エリアを中心にご案内いただいた。パネルの変遷、メーカーの特徴、方式の違いや特徴を身近に見ることができた。

### 2. 家庭用太陽光発電

諸統計から、同市の一戸あたりの普及率は10%近いと推定される。神奈川県は3倍以上の普及率(県内で高い県央地区に較べても2倍近い)である。そして、今年度も導入補助金制度継続等、普及に取り組んでいる。(ただし、この1,2年、家庭への導入は下降気味との事。)

### 3. 事業用太陽光発電

急速に普及して(去年は倍増して)累計740件以上の事業用太陽光発電が設置されたとのこと。その為か、伐採された林が目立つ。稼働中の発電所には、柵も無く、管理者の表示も無く、素人目にも強度が心配な施工もある。周囲の住民に事前説明も無い物件も多いと聞く。その上に、「認定済で未導入」の物件が更に4000件以上控えているが、現制度では、その内容を市町村や住民は知ることさえ出来ない。

再生可能なエネルギー(日本では、特に太陽光発電)は増やさなければならぬ。しかし、国民にとって大切なエネルギー基盤が、自然破壊の中で広がることに、(一部ではあろうが)無責任体制の上に築かれることに、地域と住民に歓迎されない形で広がることに不安を感じる。もっと計画的に、地域と連携した形で進める制度に進化して欲しいものである。また、自分の地区もソーラー普及と併せて乱開発防止に努めてゆきたい。 [安藤]



広大な「北杜サイト太陽光発電所」と八ヶ岳



道路沿いに柵も無く設置されている太陽光発電

2015年10月24日発行のアース・エコ メールマガジン No.6-14 に掲載した投稿記事を転載しています。